

新たなステージに対応した防災気象情報（概要）

基本的方向性

- 社会に大きな影響を与える現象について、可能性が高くなるとも発生のおそれを積極的に伝えていく。
- 危険度やその切迫度を認識しやすくなるよう、分かりやすく情報を提供していく。

改善① 時系列で危険度を色分けした分かりやすい表示

- 今後予測される雨量等や危険度の推移を時系列で提供
- 危険度を色分け

【現在】

平成26年 0月0日 18時27分 観測地防災気象台発表
 海老川流域の注意警報事項
 海老川流域では、引き続き前線で土砂災害や河川の洪水に警戒してください。
 観測地【発表】大雨（土砂災害）、洪水警報
 【継続】雷、強風、波浪、高潮注意報
 特別事項 土砂災害警報、洪水注意
 台日別水で、警戒期間に次の現象の可能性がある
 台日別水で、警戒期間に次の現象の可能性がある
 土砂災害 警戒期間 6日曜日まで
 注意期間 6日曜日まで
 洪水 警戒期間 6日曜日から 6日曜日まで
 注意期間 6日曜日まで
 雨のピークは6日曜夕方
 1時間最大雨量 70mm
 洪水 警戒期間 6日曜日まで
 注意期間 6日曜日まで



【改善策】

平成xx年x月x日11時x分x気象台発表
 x市x市 【発表】大雨（土砂災害、浸水害）、洪水警報
 高潮注意報
 【継続】暴風、波浪警報、雷注意報

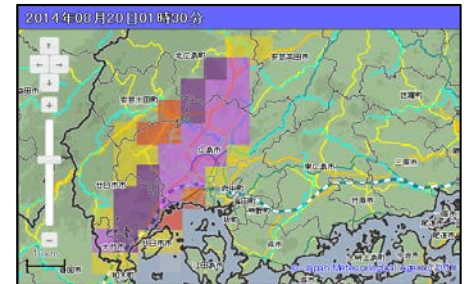
	今日					明日			
	9時	12時	15時	18時	21時	00時	03時	06時	09時
雨量(mm)	10	30	50	80	50	30	10	0	0
大雨 (土砂災害)									
洪水									
風	陸上(m/s)	15	20	20	25	20	20	15	12
	海上(m/s)	20	25	25	30	25	20	15	15
波浪(m)	4	6	6	8	6	6	4	4	3
高潮(m)	0.6	0.6	1.3	1.8	1.8	0.6	0.6	0.6	0.6

改善④ 実況情報の提供の迅速化

- 迅速な安全確保行動を促進する観点から、**記録的短時間大雨情報**をこれまでより**最大で30分早く**発表

改善⑤ メッシュ情報の充実・利活用促進

- メッシュ情報の充実
- さまざまな**地理情報との重ね合わせ**
- メッシュ情報の利活用促進



道路や河川、鉄道などの地理情報と重ね合わせてメッシュ情報を提供

改善② 明日までの「警報級の現象になる可能性」の提供

- 夜間の避難を回避するため、**可能性が高くなっても、「明日までに警報級の現象になる可能性」**を夕方までに発表

改善③ 数日先までの「警報級の現象になる可能性」の提供

- 台風等対応のタイムライン支援の観点から、**数日先までの警報級の現象になる可能性**を提供

日付		明日	明後日	(金)	(土)	(日)
警報級の可能性	雨	—	中	高	高	—
	風	—	中	高	高	中

継続的・中長期的に取り組むべき事項

- 市町村等への支援や住民への普及啓発活動の継続
- 分かりやすい防災気象情報となるよう不断の見直し

今後のスケジュール（予定）

平成28年度	5月	○「土砂災害警戒判定メッシュ情報」の分かりやすい表示の実施 (気象庁ホームページで提供) ⇒ 5月24日実施済
	出水期	○「危険度を色分けした時系列」及び「警報級の可能性」の試行 ・ 防災情報提供システムのWEBコンテンツとして試行的に表示 ⇒ 6月8日実施済 ・ 対応する新たな「気象警報・注意報」及び「警報級の可能性」のXML電文を希望される機関に試行的に配信
		○ 気象等特別警報の「注意警戒文」の文章表現の改善を実施 ⇒ 6月6日実施済
	9月	○「記録的短時間大雨情報」の発表迅速化の実施
	12月以降	○「竜巻注意情報」の発表単位の細分化の実施
平成29年度	出水期までに	○「危険度を色分けした時系列」及び「警報級の可能性」の運用開始 ・ 防災情報提供システムに加え、気象庁ホームページでの表示開始 ・ 新たな「気象警報・注意報」及び「警報級の可能性」のXML電文の運用開始
		○「浸水雨量指数」の大雨警報(浸水害)の発表基準への導入及び、メッシュ情報の提供開始
		○ 精緻化した「流域雨量指数」の洪水警報の発表基準への導入及び、メッシュ情報の提供開始
		○ メッシュ情報の技術を活用した大雨特別警報の発表対象区域の改善を開始
	3月(目途)	○ かな漢字形式等による電文の提供終了